

Mizuho Bangkok Daily Market Report

Dated of 2021/11/16

Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	32.74	-0.01
JPY/THB	0.2868	-0.0007
USD/JPY	114.12	0.23
EUR/THB	37.22	-0.26
EUR/USD	1.1368	-0.0077
USD/CNH	6.383	0.003
SGD/THB	24.19	-0.02
AUD/THB	24.05	0.04
USD/INR	74.49	0.04
USD Index	95.41	0.28

Bond

	Close	CHANGE
5Y (THB)	1.181	0.001
10Y (THB)	1.919	-0.003
5Y (USD)	1.252	0.031
10Y (USD)	1.615	0.053

Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	1,866.6	-1.9
WTI (Oil)	80.88	0.09
Copper	9,673.0	-38.0

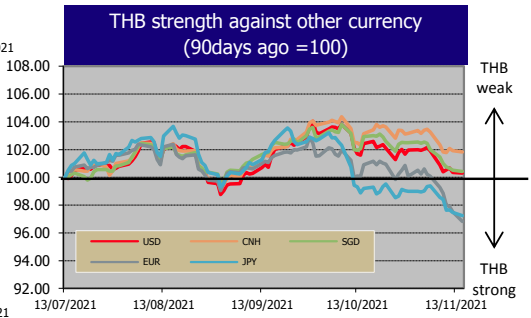
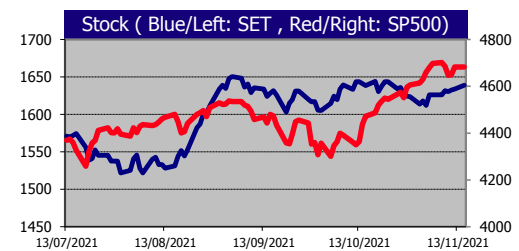
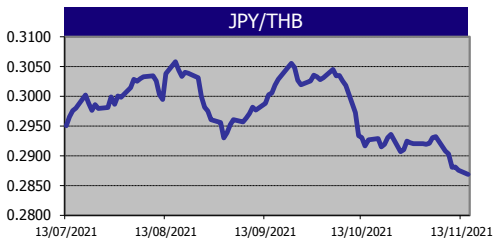
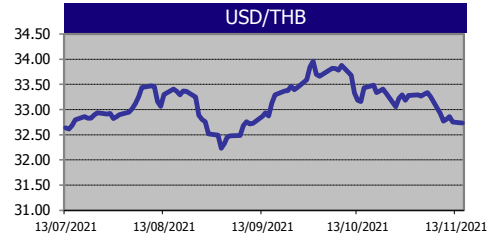
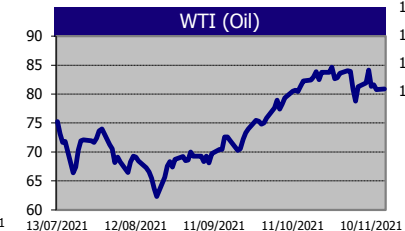
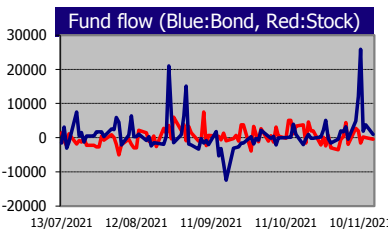
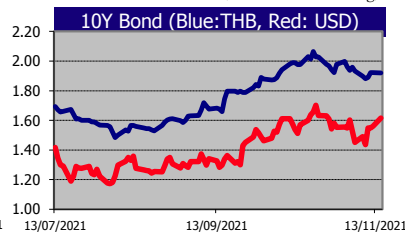
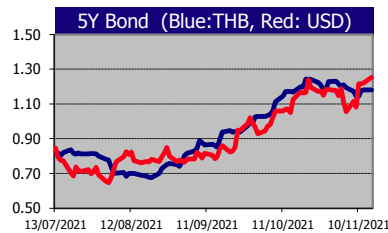
Stock

	Close	CHANGE
SET (TH)	1,638.73	4.79
NIKKEI (JP)	29,776.80	166.83
DOW (US)	36,087.45	-12.86
S&P500 (US)	4,682.80	-0.05
SHCOMP (CN)	3,533.30	-5.80
DAX(GER)	16,148.64	54.57

Fund Flow (Overseas Investors)

	Close	CHANGE
Stock net flow	(437)	-437.8
Bond net flow	996	-2804.3

*compared with previous day
(Source: Bloomberg)



Yesterday's market summary

●ドルパーツ

・昨日のドルパーツは、横ばい推移。バンコク時間は32.70近辺でオープン。この日はタイの第3Q・GDP(前年同期比)が発表され、事前予想-1.3%に対し、-0.3%の結果となった。タイでは7-9月にかけてコロナ感染が深刻化し、センチメントも大きく低下したことから、内需の低迷が確認された結果に。しかし、事前予想よりは良い結果となったことから、GDP発表後のドルパーツは小幅に下落。海外時間には米金利が上昇する展開にドルパーツも上昇に転じるが、上げ幅は限定的となり、結局32.75近辺でクローズした。

●ドル円その他

・昨日のドル円はじり高で推移。東京時間は114円近辺でオープン。短期勢のドル円ロングの利食いもあつたか、一時113.75円近辺まで下落するが、米長期金利が上昇基調を継続し、海外時間には11月NY連銀製造業景気指数が市場予想を大きく上回ったことから、ドル円は底堅く推移。しかし、米中首脳会議や米小売売上高の発表を前に上値追いの展開とはならず、結局114.15円近辺でクローズした。

Bangkok Dealer's Eye

タイでは11月より外国人観光客の隔離なしの受入が開始され、低迷するタイ経済の呼び水として、大きな期待がかかっている状況ですが、足元で集計された数字をみるに外国人旅行者の伸びは限定的となっている印象です。コロナ前には、月平均で300万人近くの観光客がタイを訪れていたわけですが、11月に入ってから外国人観光客は10日経過時点で3万人程度となっており、このペースでの増加であった場合は、コロナ前の水準と比べて1%程度の水準となります。コロナ前の集計値の正確性についても疑問が残るところではありますが、観光客の増加が伸びない最大の理由は中国人観光客がいなかったことが挙げられます。中国では2022年2月に開催される冬季の北京オリンピックを前に厳格なコロナ対策が実施されており、実質的には中国人の国外移動が大きく規制されている状況下、自由な国外旅行が出来ない状況となっています。タイの外国人観光客のうち、コロナ前は中国人観光客の比率は約3割を占めていたこともあり、オリンピック開幕までは、中国人観光客の増加が見込みにくい状況下、観光産業については歯がゆい環境が継続しそうな印象です。

ドルパーツ相場についても、タイ開国が意識される状況下において、パーツ買いが強まっている印象はありますが、リアルマネーのインフローが大きく伸びない状況においては下落も限定的となっており、32台後半で下げ渋っている状況です。コロナ感染もピークアウトを迎え、タイ経済は年末にかけては上向き基調を示していくことが予想されますが、米国の利上げ期待前倒しも要所要所で強まることも意識される中、ドルパーツは一方向きの下落は難しい印象もあり、現時点においては、足元でのレンジ推移が継続する展開を予想します。(橋)

The report is prepared for the sole purpose of information only. It is not an invitation to trade. The writer's view expressed herein would not be substituted for the exercise of rational judgement by the recipients.